

「鯉のぼり」に復興の願いを



5月14日 浪江小学校



5月5日 役場本庁舎

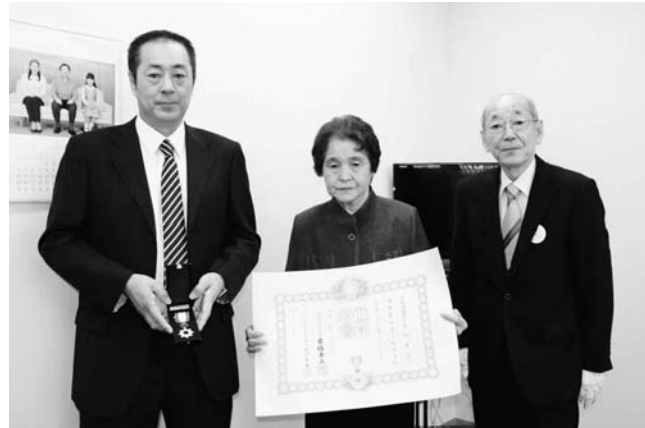
5月5日、役場本庁舎および14日、浪江小学校（二本松市）で「ふくしま鯉のぼりプロジェクト」の皆さんによって、全国から寄せられた鯉のぼりが大空を泳ぎました。

このプロジェクトは、広坂光広浪江青年会議所理事長、福島大学災害復興研究所等が呼びかけ人となり、全国から鯉のぼりやメッセージを募り、本県の復興への願いを込めて実施したものです。

おめでとうございます

4月30日、(故)木村重信さんへ叙勲伝達式が行われ、ご遺族が出席されました。

木村さんは、昭和60年から5期20年にわたり町議会議員を務めるなど、多方面において町のためにご尽力され、その功績により「旭日単光章」を受章されました。



秋 篠宮さまご夫妻、福島ご訪問

5月9日、秋篠宮ご夫妻は「陶芸の杜おおぼり二本松工房」を訪問されました。

半谷組合長の案内により二本松工房をご視察され、窯から出たばかりの器の青ひびの音に耳を澄まされていらっしゃいました。(福島へのご訪問は、震災後2度目)



ありがとうございました



相馬警察署様から、相双魂見守り隊へ防犯支援用品が贈られました。(相双魂見守り隊には、相馬市大野台第8仮設住宅の町民の方も参画しています。)



イオン心をつなぐプロジェクトの佐藤忠美様から、町へ義援金が贈られました。義援金は、子どもたちのための事業等に大切に活用させていただきます。



長野県の伊那商工会議所青年部様から、町へ義援金が贈られました(今回で2回目)。

全力で金より光れ 浪江っ子

(スローガン：4年 久米田滉斗くん作)

5月18日、浪江小学校（二本松市）で運動会が開催されました。

晴天の下、全校児童17名が各種競技に元気いっぱい流した汗は、金メダルより光っていました。

保護者や仮設住宅の方も競技に参加し、笑顔あふれる運動会となりました。



がんばれ!

なみえ

まちの話題

皆さまの身の回りにある楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。

TEL 0243-62-4731

「南極」ってどんなところ?

5月10日、浪江小学校（二本松市）で全校児童が南極について学習しました。これは「南極観測船しらせ」に乗船している権現堂出身の横山信晴さんから、浪江小学校の子どもたちへ「夢を諦めず頑張してほしい」との想いが込められた南極の水を寄贈いただき、行われた授業です。

子どもたちは、溶ける氷から聞こえる空気の音を聞いたり味をみて、3,000年前に想いをはせていました。



感謝の気持ちをタオルに込めて

4月24日、相馬市大野台第8仮設住宅にお住いの鞆野トシ子様から、市立大野小学校の児童の皆さんへ手作りのかわいい手拭き用タオルが贈られました。



心に花を! 咲かせる笑顔! 平和な未来!

5月3日から2泊3日の日程で、浪江町のYOSAKOIチーム「ワンダーなみえ」が2013広島フラワーフェスティバルに招待されました。

全国へ避難している「ワンダーなみえ」の子どもたち15名が参加し、3,000人の観客の温かい声援の中で精一杯演舞し、元気を発信しました。

また、サプライズで広島市立竹屋小学校のチームから名前入りの赤いタスキをいただき、お礼になみえ焼そばをプレゼントし、友好と絆を深めました。

参加者は「浪江町は広島市を訪問し、友好関係を結んでいるので、今後も友好が続くよう「ワンダーなみえ」が絆をつなぎ、頑張りたい。」と、今後の活動に向けて意欲を強くしていました。

